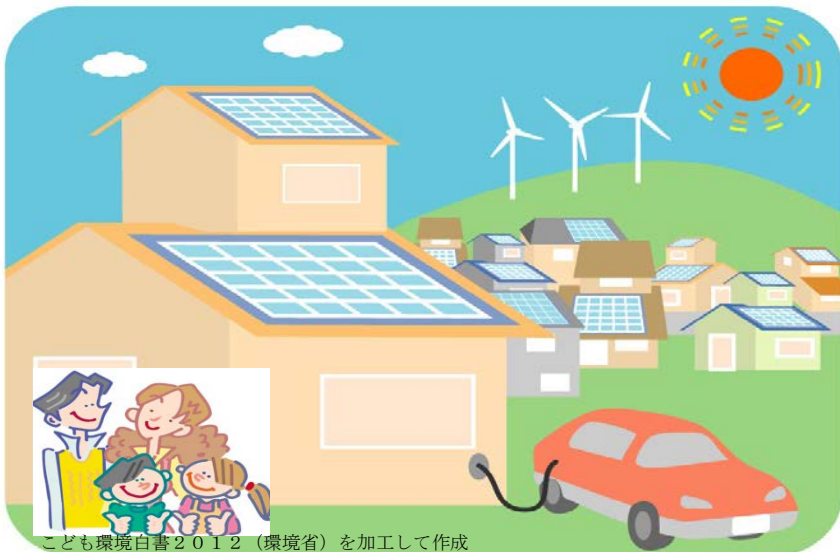


無理のない節電に

ご協力下さい(2015年度冬季)

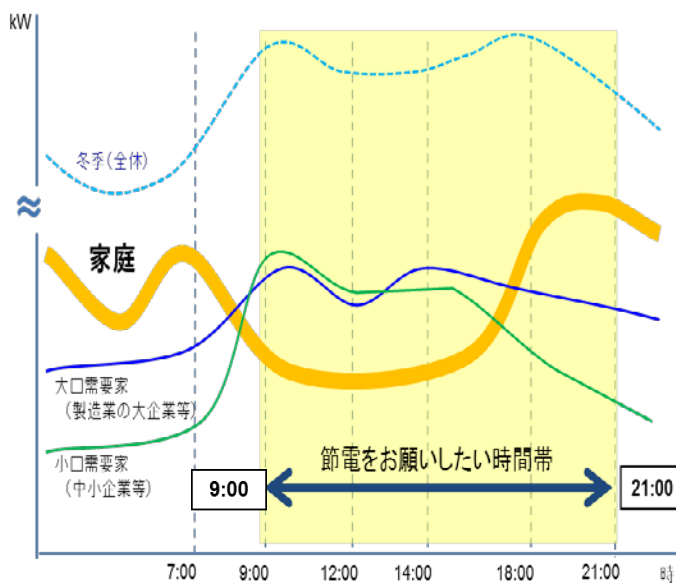


こども環境白書2012(環境省)を加工して作成

大口・小口需要家の電力需要は、特に朝10時頃から最大ピークとなる傾向です。

家庭の電力需要は、夕方から夜にかけて最大ピークとなる傾向です。

冬季平日の電気の使われ方(イメージ)



今冬の電力見通しについては、厳冬となるリスクや経済成長の伸び、企業や家庭における節電の定着などを織り込んだ上で、いずれの電力管内でも安定供給に最低限必要な予備率3%以上を確保できる見通しです。

中国電力管内の予備率は、1月が7.8%、2月が9.6%となっていますが、大規模な発電所のトラブルが発生した場合は、安定供給ができない可能性が懸念されます。

電力を安定的に供給するため、皆様の事業所やご家庭におきましては、**無理のない範囲で**節電のご協力をお願いします。

- 政府の節電ポータルサイト「節電.go.jp」
 - ・冬季の節電メニュー(事業者の皆様、ご家庭の皆様)
 - ・今冬の電力需給対策について
- <http://setsuden.go.jp/>

◆節電協力要請期間：平成27年12月1日(火)から平成28年3月31日(木)までの平日(12月29~31日を除く)
9:00~21:00

(参考)2015年度冬季の定着節電見込み[節電の目安](2010年度比)

東北	東京	中部	関西	北陸	中国	四国	九州
▲2.1%	▲7.8%	▲2.8%	▲3.8%	▲1.9%	▲1.3%	▲4.8%	▲2.8%

電力消費の特徴と節電のポイント



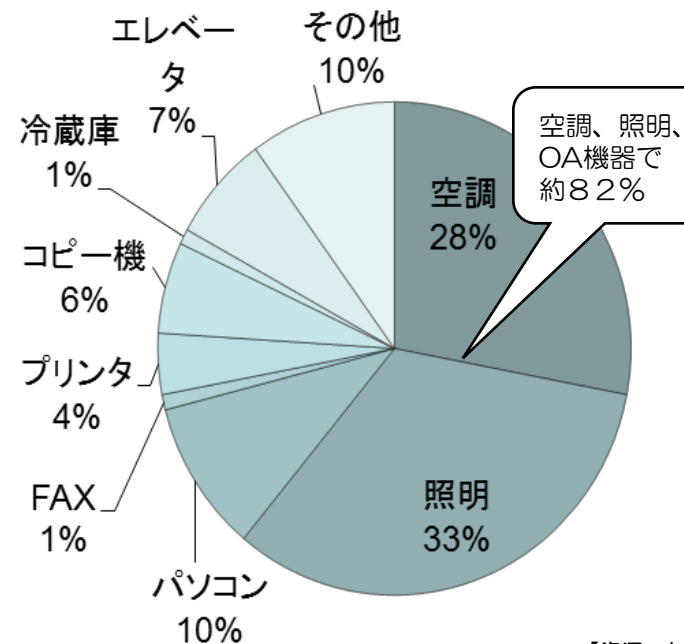
オフィスでは

空調、照明、OA機器で消費電力の約82%。
これらの分野での節電が効果的です。

ご家庭では

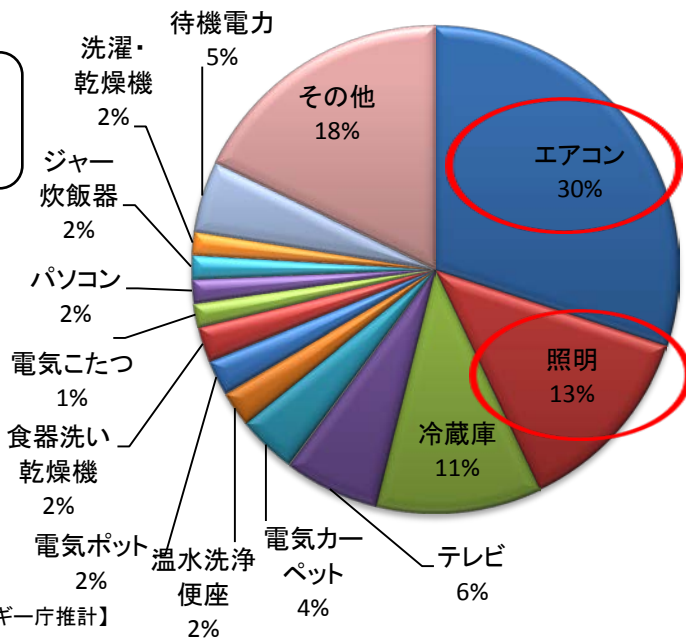
ヒーターよりエアコンの方が効率的。夕方に
電気製品の使用が重ならないよう気をつけま
しょう。

オフィスビルでの冬季ピーク時の消費電力



家庭での冬の夕方(19時頃)の消費電力

※通常、エアコンを使用される家庭の例



【資源エネルギー庁推計】

2015年度冬季の電力需給対策のポイント

- 政府では、10月30日に「2015年度冬季の電力需給対策について(電力需給に関する検討会合)」を決定しました。
- 全国(沖縄電力管内を除く)において、現在定着している節電の取組が、国民生活や経済活動への影響を極力回避した無理のない形で、確実に行われるよう、「**数値目標を伴わない**」**節電の協力を要請**します。
- 万が一、大規模な電源脱落が発生した場合にも、そのリスクを最小限にするため、電力会社に対し発電設備等の保守・保全を強化することを要請する等の対策を講じます。
- 産業界や一般消費者と連動した「節電・省エネキャンペーン」を実施します。
 - (1)産業界や一般消費者と一体となった節電・省エネの推進
民間企業などと協力し、節電・省エネを行う一般消費者に有益な情報をホームページ等において提供するとともに、民間企業などで実施している節電・省エネの取組を募集し、サイト上で紹介する。
 - (2)政府による積極的な広報の展開
節電協力要請期間中、節電・省エネをテーマにした展示会、イベント等において、政府から節電・省エネの取組を積極的に周知する。また、具体的でわかりやすい節電メニューを作成し、各種メディアやHP等により、節電・省エネを呼びかける。

【お問合せ先】 経済産業省 中国経済産業局 資源エネルギー環境部
電力・ガス事業課 TEL:082-224-5736